

特集

4月から始まる

令和6年度のところざわ

～もっと暮らしやすいまちへ～

令和6年度の所沢市の重点的な取組と、令和6年度施政方針の概要をご紹介します。

◆施政方針とは

例年所沢市議会第1回定例会で市長が新年度の市の基本方針や主な施策の方向性を示すものです。

☎経営企画課 ☎ 2998-9027

令和6年度は、長きにわたり続いたコロナ禍から脱却し、「ポストコロナ」へ転換しつつあるなど、経済全体の好転が予想されます。秋には、所沢駅西口に広域集客型商業施設が開業予定であり、所沢市に新たな魅力と活力が生まれると期待が寄せられています。

そうした社会情勢の変化を的確に捉え、発想の転換や既存の枠組みに囚われない柔軟な取組などにより、市民の皆さまにとって可能性が広がるまち、満足度・幸福度が「日本一のまち」を目指して、職員と共に将来を見据えた市政運営に努めてまいります。

所沢市長
小野塚 勝俊



もっと暮らしやすいまちへ

小・中学校の給食費無料化

市立小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者が負担する学校給食費を無料化し、子育て世帯の経済的な負担軽減により、「子育て支援の充実」を図ります。併せて、食物アレルギーや宗教上の理由などによって、学校給食を食べられず、弁当などの代替食を食べている児童・生徒の保護者に対し、学校給食費相当額を補助します。

18歳までの医療費無料化

これまで15歳までを対象として実施してきた子ども医療費無料化について、子育て世帯の更なる経済的な負担軽減により、「子育て支援の充実」を図ります。本年10月から、対象を18歳までに拡大します。



待機児童の解消へ

保育施設などの新設や、既存保育施設の定員増などにより、今年から保育受入枠を113人分拡大し、更に令和7年4月に、79人分の受入枠の確保に向け調整中です。また、「保育士の人材確保」のため、有資格者に月額28,000円/人（県内同規模自治体で最高額）を支給するほか、奨学金返済支援や宿舍借上補助などにより、市内で働く保育士の待遇改善を図ります。

高齢者・障害者への活動助成

高齢の方の活動機会を広げ、健康増進を図るため、重要な移動手段となっているところバス・ところワゴンの高齢者無料化に向けた検討を進めます。また、障害のある方が、日常生活で必要とする用具の補助対象を拡大します。



所沢駅西口地区のまちづくり

本年秋に広域集客型商業施設が開業予定の所沢駅西口地区では、所沢駅ふれあい通り線や駅周辺の歩行者デッキなどの整備を進め、所沢市の表玄関にふさわしい魅力と活力あるまちづくりを進めます。



中核市移行に向けた準備

中核市への移行に向け、体制を拡充し、必要な調査および研究を行います。また、他自治体への視察などを通じて、保健所の整備および中核市移行に向けた準備を積極的に進めます。

